

就任のお知らせ (12月14日 理事会承認)

特任教授 下司 映一
現: 保健医療学部長、保健医療学部看護学科教授
(勤務地: 長津田校舎)
選考理由: IRおよび新学科準備のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

特任教授 平井 康昭
現: 富士吉田教育部 教授
(勤務地: 富士吉田校舎)
選考理由: 富士吉田自然教育園長のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

特任教授 中村 清吾
現: 医学部外科学講座(乳腺外科学部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学病院乳腺外科)
選考理由: 昭和大学病院プレストセンター長および臨床ゲノム研究所長のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

特任教授 福成 信博
現: 医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院消化器外科)
選考理由: 昭和大学横浜市北部病院甲状腺センター長のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

医学部内科学講座(脳神経内科学部門)担当 教授
昭和大学病院附属東病院脳神経内科 診療科長
村上 秀友
現: 東京慈恵会医科大学医学部内科学講座 脳神経内科 教授
任命日: 割愛日

医学部外科学講座(心臓血管外科部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院循環器センター(心臓血管外科))
奥山 浩
前: 医学部外科学講座(心臓血管外科部門)担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院循環器センター(心臓血管外科))
任命日: 令和4年1月1日

医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学病院食道がんセンター、昭和大学江東豊洲病院食道がんセンター)
大塚 耕司
前: 医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 准教授
(勤務地: 昭和大学病院食道がんセンター)
任命日: 令和4年1月1日

歯学部長(再任)
榎 宏太郎
現: 歯学部歯科矯正学講座担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

薬学部長(再任)
中村 明弘
現: 薬学部基礎医療薬学講座(薬剤学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和7年3月31日

薬学研究科長(再任)
野部 浩司
現: 薬学部基礎医療薬学講座(薬理学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和7年3月31日

医学部学生部長(再任)
砂川 正隆
現: 医学部生理学講座(生体制御学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

歯学部学生部長
野中 直子
現: 歯学部口腔解剖学講座担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

薬学部学生部長
原 俊太郎
現: 薬学部社会健康薬学講座(衛生薬学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

保健医療学部学生部長(再任)
加賀谷 善教
現: 保健医療学部理学療法学科 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

富士吉田教育部学生部長(再任)
堀川 浩之
現: 富士吉田教育部 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

総合情報管理センター長
中村 明央
現: 総合情報管理センター 副センター長
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

※特任教授(継続) 任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日
小出 良平 加藤 進昌 三邊 武幸 工藤 進英 小林 真一
高橋 寛 鈴木 隆 市川 幾恵 小口江美子 小林 洋一
佐野 俊二 加賀美芳和 大久保文雄 九島 巳樹 宮崎 隆
岡本健一郎 富田 英 佐々木忠徳 瀧本 雅文 米良 仁志
門倉 光隆 寺田 友昭 楯 玄秀 村上 雅彦 鈴木 尚志
長谷川 真

昭和大学リカレントカレッジ 春期プログラム申込開始

1月11日より、春期プログラムの受講生募集を開始しました。全25講座を取り揃えた春期プログラムでは、オンライン講義や対面とオンラインを併用したハイブリッド講義もあり、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。資料請求・講座申し込みはリカレントカレッジホームページをご覧ください。

※問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務室(03-3784-8143)
リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。
次号では、4月開講のプログラムを紹介します。



薬学研究科 川村ひとみさんがSP賞を受賞
川村ひとみさん(薬学研究科社会薬学3年)が日本社会薬学会第39年会でSP賞(Social Pharmacy賞)を受賞した。
同学会は、医薬品をはじめとする生活関連物質と人間の健康との社会的なつながりの中で、総合的に研究・教育を発展させることにより、人間の生命と健康の維持・増進に寄与することを目的に1982年に設立された。SP賞は、社会薬学の分野において独創的な新しい知見または方向性を表すものである。



左から川村ひとみさん、岸本桂子教授

川村さんは演題「子供に抗菌薬が処方されなかったことへ納得できない母親の思いに影響する要因の検討」の発表が高く評価され、同賞に選定された。

フォーラム2021... 衛生薬学・環境トキシコロジー
フォーラム2021... 衛生薬学・環境トキシコロジーで、富塚祐希さん(薬学研究科衛生薬学2年)が実行委員長賞、落合翔さん(受賞当時・同4年/現・薬学部社会健康薬学講座衛生薬学部門助教)が日韓次世代ポスターセッションのベストポスター賞を受賞した。
同フォーラムは、日本薬学会の環境・衛生部会による学術年会で、疾病予防や健康維持・増進に関する学術・研究の推進を目標とし

富塚さんは演題「P-lacO誘発性肺障害における長鎖アシルCoA合成酵素4の役割の解析」、落合さんは演題「Prostacyclin exacerbat

tes cyclophosphamide-induced hemorrhagic cystitis」が評価され、それぞれの賞に選定された。



左から富塚祐希さん、原俊太郎教授、落合翔さん

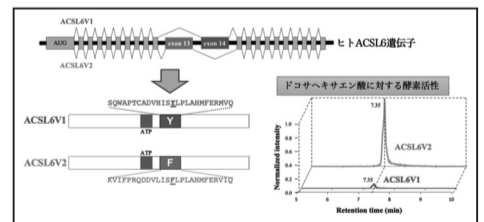
薬学研究科 黒瀧アン里さんの研究論文がHighlighted Paper selected by Editor-in-Chiefに選定

黒瀧アン里さん(論文執筆当時: 薬学研究科衛生薬学4年 / 現: 薬学部病院薬剤学部門助教)、桑田浩准教授(薬学部社会健康薬学講座衛生薬学部門)、原俊太郎教授(同)の研究論文が、日本薬学会の学術誌「Biological and Pharmaceutical Bulletin」2021年44巻10号(2021年10月1日発行)の「Highlighted Paper selected by Editor-in-Chief」に選ばれ、本研究の概要を示すイラストが同号の表紙を飾った。

本研究論文は、体内の脂質代謝を担う長鎖アシルCoA合成酵素6(ACSL6)の基質特異性を解析したもので、ACSL6の多数存在する分子種(バリエーション)のうち、ACSL6V1がリノレン酸を、V2がドコサヘキサエン酸を良い基質とすることを明らかにした。

論文名: Substrate specificity of human long-chain acyl-CoA synthetase ACSL6 variants. (ヒト長鎖アシルCoA合成酵素ACSL6分子種の基質特異性)

著者名: Anri Kurotaki, Hiroshi Kuwata, Shuntaro Hara.
(黒瀧アン里、桑田浩、原俊太郎)



研究概要を示したイラスト

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

- 昭和大学薬学・研究奨励基金への寄付
【同窓】横山 幹彦様(医学部・46回生) 【職員】鶴飼 直紀様
昭和大学藤が丘病院への寄付
【同窓】横山 幹彦様(医学部・46回生)
病院建設・運営維持への寄付
【一般】三協立山株式会社様